【授業科目】慢性看護学特論Ⅱ（疾患の理解と看護援助）　Advanced Chronic Illness Nursing Ⅱ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
大久保 仁司	１年次 後　期	選　択	２	３０	講　義	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	慢性的な健康問題をもつ患者の疾患を理解し、事例を用いて患者・家族が抱える問題・課題を明確にし、看護実践方法を探求する。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／プレゼンテーションについては授業内でコメントする。また、提出されたレポートについてはコメントをつけて返却する。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー③、④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	① 慢性的な健康問題をもつ患者の疾患・治療・検査について説明できる。 ② 慢性的な健康問題をもつ患者・家族が活用できる社会資源や、療養の場における調整方法を述べることができる。 ③ 慢性的な健康問題をもつ患者・家族の倫理的課題について検討し、対応について探求することができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	事前学習は各回に関係する文献を読んでおく（2 時間）。事後学習は学んだ理論・概念を用いて事例を展開し、学びを応用に結び付ける（2 時間）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1 回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第 1 回　慢性疾患の現状と動向 第 2, 3 回　慢性疾患（糖尿病）をもつ患者と家族への看護　1, 2 第 4, 5 回　慢性疾患（腎臓病）をもつ患者と家族への看護　1, 2 第 6, 7 回　慢性疾患（心疾患）をもつ患者と家族への看護　1, 2 第 8, 9 回　慢性疾患（呼吸器疾患）をもつ患者と家族への看護　1, 2 第 10, 11 回　慢性疾患（脳血管疾患）をもつ患者と家族への看護　1, 2 第 12, 13 回　慢性疾患（がん疾患）をもつ患者と家族への看護　1, 2 第 14 回　地域連携システムの現状と今後の課題 第 15 回　倫理的課題への対応と今後の課題
評価方法 評価基準	課題に対するプレゼンテーション、レポートなどによって総合的に評価する。
教科書	教科書は指定しない。 適宜、資料配付や文献を紹介する。
参考書等	講義内で随時紹介する。